

参考文献

参考文献

序 章

- [01] 原田昭, (1999. 3) 「感性の定義」 筑波大学感性評価構造モデル構築特別プロジェクト研究組織, 感性評価-2
- [02] 辻 三郎, (1997. 1) 「感性の科学」, サイエンス社
- [03] 北側高嗣他, (2002. 6) 「情報学事典」, 弘文堂 p192
- [04] (http://unit.aist.go.jp/is/index_j.html)
- [05] (EXPO COMM WIRELESS JAPAN 2004) (<http://it.nikkei.co.jp/it/>)
- [06] 行場次郎, 箱田裕司, (2000) 「知性と感性の心理」 福村出版
- [07] 中森義輝, (2000) 「感性データ解析」, 森北出版
- [08] 吉田倫幸, (2002) 「感性反応としての脳波の読み取りかた」, デザイン学研究特集号, vol. 10No. 2
- [09] 吉田倫幸, (1992) 「脳波の周波数ゆらぎ計測」, FRAGRANCE JOURNAL 10月号
- [10] 日刊工業新聞, (2003年2月21日)
- [11] AGU NEWS Vol. 17, (2003年5月-6月号) 青山学院大学
- [12] 金丸正史、ほか, 「唾液アミラーゼ活性によるジェットコースターの感性評価」 電子情報通信学会技術研究報告 (2003) VOLM:103 p1-6
- [13] <http://hotwired.goo.ne.jp/news/news/20030904205.html>
- [14] 日本学術振興会 未来開拓学術研究推進事業
(<http://www.jsps.go.jp/j-rftf/main.htm>)
- [15] 「感性的ヒューマンインターフェース」 公開シンポ(2004. 2. 21)
(<http://www.miv.t.u-tokyo.ac.jp/kansei-if-mirai/>)
- [16] 北海道大学知識メディア分野
(<http://ca.meme.hokudai.ac.jp/project/future/>)
- [17] ウィリアム M. ニューマン,マイケル G. ラミング(1999) 「インタラクティブシステムデザイン」 ピアソン
- [18] 辻三郎(領域代表者)「感性情報処理の情報学・心理学的研究」(課題番号:04236107), 文部省科学研究費補助金重点領域研究平成6年度成果報告書、平成7年(1996年)2月

第1章

- [01] 筑波大学大学院人間総合科学研究科COE21「こころを解明する感性科学の推進」, <http://www.chs.tsukuba.ac.jp>

-
- [02] 電子情報通信学会, (1998)「電子情報通信ハンドブック」感性情報処理
 - [03] 橋渡滑二, (1988)「ヒトと機械はどう対話するか—ヒューマン・インターフェース入門 ブルーバックス」講談社
 - [04] D. A. ノーマン, (1990)「誰の為のデザイン」新曜社
 - [05] 宮崎 清孝, 上野 直樹 (1985)「認知科学選書」東京大学出版会
 - [06] 北村晴朗, (1982)「心像表象の心理」誠信書房
 - [07] 佐伯 育, (1986)「認知科学の方法」東京大学出版会
 - [08] 山梨 正明, (1988)「比喩と理解」東京大学出版会
 - [09] (<http://hotwired.goo.ne.jp/news/news/technology/>)
 - [10] Puhua Zhang, Akira Harada, (2003. 10.) 「Perspective of Relationship between Man and Machine」, Journal of the The 6th Asian Design International Conference Vol. 1 Asian Society for the Science of Design, ISSN 1348-7817 (CD-ROM) G-52 pp. 1-9,
 - [11] 張浦華, (2003. 10) 「技術動向から見たインターフェースデザインの方向」, 第5回日本感性工学会大会予稿集, p52,
 - [12] 市川伸一・伊東 司, (1993)「認知心理学を知る」ブレーン出版
 - [13] 和多田作一郎, (1986) 「人工知能の理解を深める本」実務教育出版
 - [14] B. エドワーズ, (2002) 「脳の右側で描け」エルテ出版
 - [15] 小林宏, (1990)「直感から直観へ 感性学入門—感性を強くゆたかに」, 産能大学出版部
 - [16] 篠原昭, 清水義雄, 坂本博編, (1996) 「感性工学への招待—感性から暮らしを考える」森北出版
- [注1] Tmedia News 2002. 12. 17
(http://www.itmedia.co.jp/news/0212/17/nj00_wiss_00main_4.html)

第2章

- [01] U・ナイサー, (1978)「認知の構図」サイエンス社
- [02] 市川伸一, 伊東司, (1993)「認知心理学を知る」おうふう
- [03] 和多田作一郎, (1986)「人工知能の理解を深める本」実務教育出版
- [04] 高木廣文, 佐伯 圭一郎, 中井 里史, (1989)「HALBAUによるデータ解析入門」現代数学社
- [05] 張浦華, 原田昭 他(6人), (1990. 9) 「操作難易度と使用頻度のメ

ンタルモデルについての研究」、日本デザイン学会第37回研究発表大会概要集、p15（パネルp130）

第3章

- [01] 張浦華、原田昭、(1997)「TDK 製品開発プロジェクト報告書」1. イメージデザインデータベース、2. コンセプトメーカ、3. インターネットによる WWW リサーチ手法の開発
- [02] 張浦華、原田昭、(1997)「インターネットを活用したデザイン調査ツールの提案」国際学術会議、日韓デザインシンポジウム、pp603-606
- [03] 張浦華、原田昭 他(6人)、(1997.11)「エフェクト画像に対する感性評価」、日本デザイン学会第44回研究発表大会概要集、p51
- [04] 原田昭・張浦華 他(6人)、(1997.11)「感性評価構造モデルのプロトタイプ探索」、日本デザイン学会第44回研究発表大会概要集、p47,
- [05] 感性評価1、(1997)「筑波大学構造モデル構築特別プロジェクト研究報告書」
- [06] 日本学術会議感性工学小委員会(1997)「感性工学の枠組み」日本学術会議材料工学研究連絡委員会感性工学小委員会感性工学小委員会
- [07] 原田昭、(1995)「感性情報リアクティブ／インタフェース」、日本学術会議、第1回感性工学シンポジウム
- [08] Puhua Zhang, Akira Harada, (1998.10) 「KANSEI Evaluation of Package Design Using Visual Effected Images」, The 3rd Asia Design Conference Proceeding Volume 1, pp. 339-346,
- [09] 張浦華、原田昭、(1999.3)「ヴィジュアルエフェクト画像によるパッケージデザインの感性評価」、筑波大学感性評価構造モデル構築特別プロジェクト研究組織、感性評価-2、pp. 241-256,
- [10] 原田昭、張浦華、(1999.3)「画像認識と比喩形式における類似性」、筑波大学感性評価構造モデル構築特別プロジェクト研究組織、感性評価-2、pp. 173-181, 183-190
- [11] 杉山和雄、井上勝雄、(1996)「EXCELによる調査分析入門」、海文堂
- [12] 若林尚樹、(1996)「ハイパーメディアデザイン」財団法人画像情報教育振興協会
- [13] 北島吾郎、土居元紀(2003)「画像の構成を手掛かりとした音楽の検索」情報処理学会関西支部大会、A-11

[14] 河西朝雄, (1996) 「Java Script 入門」 技術評論社

第4章

- [01] 筑波大学 SCS ホームページ「<http://www3e.emc.tsukuba.ac.jp/scs/>」
SCS とは、Space Collaboration System の略称で大学、高等専門学校及び大学共同利用機関等に設置したディジタル衛星通信による映像交換を中心とした大学間ネットワークシステムである。このシステムにより複数利用局間のリアルタイムでの映像音声による交信が行われ、遠隔講義、遠隔講演、遠隔研究会、遠隔会議などに利用される。1999年4月までに全国で132局が開局されている。筑波大学では、平成9年度に筑波1局、平成10年度に筑波2局が開局された。
- [02] Puhua Zhang, Akira Harada, Masakatu Sakada, (1999.10) 「A Study on the Evaluation for Usability of HomePage」, The 4th Asia Design Conference International Symposium on Design Science1999 (CD-ROM), pp. 152-163
- [03] 張浦華, 原田昭, 坂田昌克, (2000.3) 「ログ解析によるホームページのユーザビリティ評価」, 感性筑波大学感性評価構造モデル構築特別プロジェクト研究組織, 感性評価-3, pp. 207 ~ 229
- [04] 張浦華, (1999.11) 「感性評価構造モデルのためのログ解析によるホームページの評価」, 第1回日本感性工学会大会予稿集1999, p136
- [05] 張浦華, 原田昭, 坂田昌克, (2000.9) 「画像における視点移動と評価の相互関係」, 第2回日本感性工学会大会予稿集2000, p156
- [06] 原田昭, 坂田昌克, 張浦華, (2000.9) 「感性評価構造モデル構築のための感性データ収集」, 第2回日本感性工学会大会予稿集2000, p158
- [07] 坂田昌克, 原田昭, 張浦華, (2000.9) 「感性評価への情報技術の適用」, 第2回日本感性工学会大会予稿集2000, p157
- [08] Puhua Zhang, Akira Harada, Masakatu Sakada, (2001.10) 「Structural Consideration of Image Appreciation」, The 5th Asian Design Conference-International Symposium on Design Science (CD-ROM) G-04 Jp045, pp. 1-10
- [09] 張浦華, 原田昭, 坂田昌克, (2001.3) 「画像鑑賞における視点移動と注目点の相互考察」, 筑波大学感性評価構造モデル構築特別プロジェクト研究組織, 感性評価-4, pp. 469 ~ 476, (筆頭・共著)
- [10] 海保博之, 加藤隆, (1992) 「人に優しいコンピュータ画面設計」, 日

経BP社

- [11] 山岡俊樹、岡田明、(1999) 「ユーザーインターフェースデザインの実践」 海文堂出版株式会社
- [12] (社) 人間性活工学研究センター、ユーザーインターフェース設計委員会、(1999)「構造化ユーザーインターフェース設計・評価方法」
- [13] 張浦華他、(1999)「ホームページにおけるユーザーピリティ評価についての研究」 感性評価3 筑波大学感性評価構造モデル構築特別プロジェクト研究報告集 pp219-229
- [14] 杉山和雄(他)、(1996) 「EXCELによる調査分析入門」 海文堂出版
- [15] 坂田昌克他、(2000) 「感性評価への情報技術の適用」 第2回日本感性工学会大会予稿集 pp157

第5章

- [01] WBT [01] (Web Based Training) , インターネットやインターネットなどのネットワークを活用した教育手法、いわゆる学習者がひとりひとりパソコンに向かって Web 上の教材にアクセスし学習するかたちである。)
- [02] 張浦華、原田昭、坂田昌克、(2000. 9) 「学生によるリアルタイム授業評価ツール」 第3回日本感性工学会大会予稿集 2000, p105
- [03] 柿山浩一郎、張浦華、原田昭、(2001. 10) 「感性的リアルタイム評価ツールの提案」、日本デザイン学会第48回秋季研究発表大会概要集, pp. 72-73,
- [04] 張浦華、坂田昌克、柿山浩一郎、原田昭、(2001. 10) 「教育の為のリアルタイムアシストツール」、日本デザイン学会第48回秋季研究発表大会概要集, pp. 216-217, (筆頭・共著)
- [05] 張浦華、坂田昌克、柿山浩一郎、(2002. 3) 「リアルタイムアシストツールによる授業補完」、筑波大学感性評価構造モデル構築特別プロジェクト研究組織、感性評価-5, pp. 293 ~ 296
- [06] 坂田昌克、張浦華、(2002. 3) 「遠隔授業のためのプレゼンテーション及び評価システムの開発」、筑波大学感性評価構造モデル構築特別プロジェクト研究組織、感性評価-5, pp. 411 ~ 417
- [07] 張浦華、坂田昌克、柿山浩一郎、原田昭、(2004. 9) 「研究発表における感性的評価と論理的評価」、第6回日本感性工学会大会予稿集, p214

[08] E-Learning (情報技術 (IT) による学習。メディア化された教育環境である遠隔学習 (ディスタンスラーニング) に内包され、電子メディアによる、同期型の衛星通信やテレビ会議、非同期型の Web based Learningなど) アによる、同期型の衛星通信やテレビ会議、非同期型の Web based Learningなど)